



# 子どもが 自分らしさを 輝かせるために



大人のあたたかい関わりが  
子どもの笑顔をつくれます

作成：福井県教育委員会  
監修：仁愛大学人間学部心理学科  
福井県幼児教育支援センター

発行：令和4年4月

## アンケート結果

県内各市町の小学5年生と中学2年生(約 2500 人)を対象に、家庭での大人との関わりや子どもの自己意識についてアンケート調査をしました。(詳しくは別紙「調査概要・調査用紙」参照)

### 親との関わり

☆親とは、父母や祖父母など日常的に関わっている大人をさします。



- 日頃、親と話す
- 親は話を聞いてくれる
- 親は自分の気持ちを理解し尊重してくれている
- 親にほめられる

「当てはまる」  
「どちらかといえば  
当てはまる」が  
小・中学生ともに  
約9割

### 子どもの自己意識



- 好きなこと、得意なことがある
- 友達と協力するのは楽しい
- 人の役に立つ人間になりたい
- きまりやルールを守っている

「当てはまる」  
「どちらかといえば  
当てはまる」が  
小・中学生ともに  
約9割

- インターネット(SNS、ゲーム、動画など)を使っていて、やめたい時にやめることができる

「やめることができない」  
「どちらかといえば  
できない」が  
小・中学生ともに  
約2割

- 平日、家でインターネットを2時間以上使っている

小学生 約4割  
中学生 約5割

### 親がどうしてくれるとうれしく思うか

#### 小学生

- ・良かった時、ちゃんとほめてくれる 54%
- ・いっしょに遊んでくれる 46%
- ・何があっても味方でいてくれる 43%
- ・自分がやりたいことを  
応援してくれる 39%

#### 中学生

- ・自分がやりたいことを応援してくれる 53%
- ・何があっても味方でいてくれる 46%
- ・良かった時、ちゃんとほめてくれる 47%
- ・あれこれ口を出さず  
自分を信じて任せてくれる 39%

家庭教育で



# 育みたい子どもの姿



## 自分も人も大切にする子

自分を大切にできる人は、  
ポジティブ思考で自分や人を肯定的に見たり、  
自分で考えて行動できるようになります。  
また、自己肯定感が高まると、人の気持ちも  
大切にできるようになります。



子どもが親から  
「愛されている」  
と実感することが  
自己肯定感に  
つながります。

## 前向きにチャレンジする子

チャレンジ精神が旺盛で  
何にでも積極的に取り組めると、  
自分のもっている可能性を  
伸ばしていくことができます。



過保護・過干渉は逆効果。  
自分で考え、行動し、  
達成感を味わう経験や  
失敗から学ぶ経験  
が大切です。

## 思いを表現する子

自分の思いを表現することができると、  
人とのコミュニケーションが豊かになり  
人間関係を広げていくことができます。

中学生は、理想と現実のギャップに  
悩む時期ですが、多様な人と出会  
うことで世界が広がります。

豊かな体験で  
子どもの感性を育て、  
家庭で安心して  
自分を表現できる  
環境をつくりましょう。



育みたい子どもの姿を実現するための

## 親の関わり3つのポイント

### ① 人として尊重する

子どもも、人格をもった一人の人間であり、  
十人十色の個性があります。



あなたはと思う？  
どうしたい？

その考えいいね！  
思うようにやっごらん。

### ② 気持ちを受けとめる

はじめから否定せず、まずは子どもの立場に  
なって共感しましょう。



そんなことを言われたら  
悲しいよね。

うれしかったんだね。  
良かったね！

### ③ 良さを見てほめる

一人一人、それぞれに良さがあります。  
人と比べず、良いところを見て、具体的に  
ほめましょう。



最後まであきらめず、  
一生懸命に走れたね。

ゆっくりだけど、  
丁寧にがんばってるね！

### 正しい行動を教えることも 大切です



- 間違っことをした時には、何が良くないか、  
どうするとよいかを考えさせましょう。
- 良くなった時を逃さずほめましょう。
- 大人が手本の姿を示しましょう。

みんなが困ってるよ。  
どうして分かるかな？  
考えてみて。

みんな静かにしているよね。  
相手の立場になるのが大切だよ。

ちゃんと～してえらかったね。  
やればできる！